

令和元年度（2019年度）行政評価シート【個表】

令和元年7月8日

評価対象事業		評価者	ごみ減量対策課 担当課長 不破 寛和		
環境-06	実施事業	し尿収集事業	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課	ごみ減量対策課
			<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課	
総合計画上の位置付け	分野	生活環境	施策の方針	環境汚染の防止	

1 事業の目的

対象	市民等
意図	汲取りし尿の適正な処理のため。
効果	生活環境の保全及び公衆衛生が図られる。

2 平成30年度(2018年度)に実施した事業の概要

<p>・し尿の収集運搬及び処理手数料の徴収事務を委託した。</p>
-----------------------------------

3 事業費等基礎データ

データ区分	29年度(2017年度)決算		30年度(2018年度)決算		01年度(2019年度)当初予算		備考
	人口等のデータ	人口	176,466人	176,308人	人口	176,436人	
	世帯数	81,150世帯	81,763世帯	世帯数	82,444世帯		
運営資源状況	事業の対象者数			事業の対象者数			
	決算値(千円)	21,268	19,286	当初予算(千円)	8,856		
	国県支出金			国県支出金			
	地方債			地方債			
	その他	7,869	8,509	その他	996		
	一般財源	13,399	10,777	一般財源	7,860		
事業経費運営	人員配置数	0.5	0.5	人員配置数	0.5		
	人件費(千円)	3,856	3,979	人件費(千円)	4,122		
	総事業費(千円)	25,124	23,265	総事業費(千円)	12,978		
	市民1人当りの経費(円)	142	132	市民1人当りの経費(円)	74		
	対象者1人当りの経費(円)			対象者1人当りの経費(円)			

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効率性	事業費に削減余地はないか	2. ない
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない
妥当性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	3. 変わらずにある
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きい	3. 廃止・休止による影響は大きくある
	今後も市が実施すべき事業か	5. 豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある
有効性	事業の成果は得られているか	3. 十分な成果が出ている
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	4. 事業の方向性や手法も適切であり、大きく貢献している
公平性	受益者負担は公正・公平か	○-2. 適正な受益者負担を導入している
協働	市民等と協働して事業を展開しているか	△-2. 市民等と協働して事業を実施することはできない
		協働実施済の場合のパートナー

事業内容の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す → <input type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする <input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する <input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する →	見直しの種類	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他	見直しの内容	許可制度の導入に伴い、委託業務内容を見直した。
					事業へ統合
予算規模の方向性	<input type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する <input type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする <input checked="" type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由	公共下水道の未整備地区や工事現場等の仮設トイレにおいては、し尿収集業務は不可欠な業務であるが、委託内容の見直しを実施したため、予算規模を縮小した。		

総評(評価に対する考え方、根拠等)	<p>・生活環境の保全及び公衆衛生を図るためには、汲取りし尿の適正な処理を継続的に行う必要がある。また、事業内容について委託内容の見直しを行い、予算規模は過年度と比較して縮小した。</p>
-------------------	--

平成30年度(2018年度)事業実施にあつての課題(前年度未解決の事項を含む)	・継続して口座振替の推奨の周知を図り、手数料徴収を効率化する必要がある。	
課題解決のために行った平成30年度(2018年度)の取組	・賦課通知において、口座振替を勧める案内を行った。	<input type="checkbox"/> 解決 <input checked="" type="checkbox"/> 一部解決 <input type="checkbox"/> 未解決
未解決の課題、新たな課題とその理由	・継続して口座振替の推奨の周知を図り、手数料徴収を効率化する必要がある。	

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項	委託収集量(平成29年度)									
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀市	葉山町	逗子市	横浜市	
他市実績	924kl	13,118kl	9,446kl	1,061kl	26,040kl	13,417kl	0kl	312kl	0kl	

比較事項	許可収集量(平成29年度)									
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀市	葉山町	逗子市	横浜市	
他市実績	2,481kl	0kl	0kl	6,124kl	0kl	435kl	9,370kl	0kl	26,402kl	

比較事項	直営収集量(平成29年度)									
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀市	葉山町	逗子市	横浜市	
他市実績	0kl	0kl	0kl	0kl	0kl	0kl	0kl	0kl	7,109kl	

当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方	し尿収集について、本市は多くの市と同様に委託又は許可による収集を実施している。
----------------------	---

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	処理手数料の口座振替世帯割合						単位	%	指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)				
効率的な集金体制の確保を行うため。	目標値	24.0	25.0	26.0	27.0	28.0	29.0				
	実績値	22.7	23.5	24.1	21.1	22.4					
	達成率	94.6%	94.0%	92.7%	78.1%	80.0%					

当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方	手数料徴収の効率化を推進していく。
-----------------------	-------------------